

守口文化センター指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口文化センター

【指定管理者名】 公益財団法人守口市文化振興事業団

【評価対象年度】 平成27年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習課

施設のサービス水準の視点 コメント

施設利用者数について、昨年度と比較し年間約9,800人の増加となっているものの、館全体としての稼働率は年々下降傾向にあるため、稼働率上昇に繋がる取組み(広報・営業活動・新規事業の実施等)が必要である。しかし、研修室・会議室(1)(2)においては、高い稼働率を維持し、運営されている点を評価した。また、平成27年4月からインターネットによる蔵書検索・予約システムサービスがスタートし、図書等の貸出人数が昨年度と比較し、年間で約2,600人増加しているが、窓口での事前説明・対応により大きな混乱もなく、図書サービスの提供に努められている。結果、アンケートの実施結果も踏まえ、施設としてのサービス水準は概ね保たれていると判断した。

収支状況 コメント

平成27年度については、約55万6千円の黒字決算である。最大の要因としては、支出面での抑制(電力の自由化による光熱水費の削減・人件費の削減等)が挙げられるが、利用料金収入が目標値(4,138万円)を上回ったことも一因と考えられる。今後も支出面での抑制を図り、利用者のニーズに沿った事業展開を効率的に実施し、黒字決算を維持するとともに、施設の適切な管理運営に努められたい。

市(施設所管課)による総合評価

高い稼働率で運営している会議室・研修室はあるものの、施設としての稼働率は年々下降傾向にあるため、駅前という施設の立地環境を活かした事業展開等、稼働率の上昇に繋がる取組みの実施が必要である。また、収支面は黒字決算である点は評価できるが、経費削減による収支改善だけではなく、収益の増加による収支バランスの改善が必要と考える。今後も利用者のニーズに沿った事業を効率的に実施し、本市における文化の振興に努められたい。また、「守口市指定管理者制度におけるモニタリングの指針」に基づく利用者アンケート調査については、「一般利用者・施設利用者・図書室」の対象者別に実施はしているものの、集中的(1ヶ月単位)に行うのではなく、年間を通して実施する必要性があることや、四半期ごとに集約する必要性があることなど、実施方法について再度指針を確認するとともに、遵守願いたい。

総合評価

B

総合評価区分

- A : 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B : 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C : 協定事項等の水準以下であった